

# 迷走する共和党予備選挙 —オバマ再選の決め手は何か

東洋英和女学院大学教授

なか  
おか  
のぞむ  
中岡望

- \*「生き残った」ロムニー候補
- \*共和党はどういう党なのか
- \*保守主義者の登場
- \*穏健派と保守派の対立
- \*どれだけ保守的かが基準
- \*急遽登場したギングリッチ候補
- \*ずいぶん違う代表者数と投票実態
- \*制度改革で候補者減らず
- \*オバマ再選に有利な流れに
- \*ほしいのは「第二のレーガン」



浅野 それでは開会いたします。（拍手）

来週3月6日の火曜日が10州で予備選挙が行われる「スーパーチューズデー」ということから、私としてはベストのタイミングです。トの講師をお願いしたつもりです。しかし、スーパーチューズデーでは共和党の大統領候補者選に決着がつかせうもない感じでは。はたして共和党の予備選はいつまで続くのかということだんだん盛り上がりつつある中で、今日はその辺の内幕を伺うことにしました。一方の民主党も実は予備選が行われているようでもありますけれども、今のところオバマ大統領の独走という雲行きです。

アメリカの政治ということになると、『週刊東洋経済』も『週刊エコノミスト』も『中央公

論』もみな中岡さんのところに原稿を頼みに来るそうが目下、大忙しだそうです。ちょうど『週刊東洋経済』の臨時増刊で「米欧の没落 日本岐路」が出たところですが、ここでも「国内政治の混乱と社会的な分裂がアメリカの死を招く」と題する記事をお書きになっています。それでは中岡さん、よろしくお願いいたします。（拍手）

中岡 中岡です。よろしくお願いたします。前回お話ししたのが2010年10月末で、ちょうどアメリカ議会の中間選挙直前でした。当時の講演録をご覧いただければわかると思います。結果的には私がお話ししたとおりの結果となりました。現在、11月の大統領選挙に向けて各党の予備選挙が行われています。今日は、主